

ケーキのろうそく一息で消す 山田の昆さん、元気に100歳

山田の昆チエさん（大正3年生まれ）は1月25日に100歳の誕生日を迎え、入所している特別養護老人ホーム「平安荘」で同月27日、佐藤町長がお祝い金を手渡しました。仲間のお年寄りや職員もこぞって祝福。町長が「長生きして町の復旧・復興を見届けてください」と祝うと、チエさんはバースデーケーキのろうそくの火を一息で吹き消しました。宮古市出身のチエさんは織笠地区の漁師の家に嫁ぎ、3人の子どもの育てました。健康で何でもよく食べ、おしゃれで毎日の身だしなみにも気を配ります。



山田八幡宮で節分祭 町の復興願い、福豆まく

山田八幡宮で2月3日夕、恒例の節分祭が行われ、今年1年の福を求める多くの町民らでにぎわいました。祭礼は本殿で厄払いや町の早期復興を祈願する神事に続いて、関口神社に伝わる「関口不動尊神楽」を境内で奉納。イザナギノミコトに扮した舞手が四方に豆をまき、刀を手に土地を清める「清祓」^{きよはらい}を厳かに舞いました。この後、佐藤町長らが登場して福豆や紅白の餅、お菓子、食料品などの縁起物を豪快にまき、参拝者はみぞれ交じりの冷たい雨をものともせず（山田八幡宮）に手を伸ばしていました。

2月19日、町中央コミュニティセンターにおいて「希望郷いわて国体山田町実行委員会設立総会・第1回総会」が開催されました。これは、平成28年の第71回国民体育大会・希望郷いわて国体において、高等学校野球（軟式）競技が本町で行われることに伴い、同競技の円滑な運営を目指し開かれたものです。同大会の本県での開催は、昭和45年以来2度目となり、本町での競技開催は初めてとなります。設立総会に先立ち、佐藤町長は「本町での開催は、震災で支援していただいた多くの方々に、おもてなしの気持ちを伝える



実行委設立総会・第1回総会の様子

山田町実行委員会設立総会・第1回総会を開催

希望郷いわて国体の成功に向け

◆高等学校野球（軟式）競技の日程

開催日	試合内容
平成28年10月1日（土）	公開練習日
10月2日（日）	1日目（3試合）
10月3日（月）	2日目（3試合）
10月4日（火）	3日目（準決勝戦）
10月5日（水）	4日目（決勝戦）

※開催場所については、全日程山田町総合運動公園野球場となります。

るチャンス。選手の熱いエネルギーを得て、復興の糧としたい」とあいさつしました。平成28年のいわて国体では、正式競技（陸上競技、水泳、サッカーなど）37競技、特別競技（高等学校野球（硬式・軟式）1競技、公開競技（綱引、ゲートボールなど）4競技、デモンストレーションスポーツ（ウォークラリー、エアロビックス、少年少女ホッケーなど）29競技の、計71競技が行われます。同大会を成功させるため、皆さまのご協力をお願いします。



町のわだい

—— 今月の題字 芳賀 莉ノ杏ちゃん（荒川小2年）



子どもたちが熱演したキッズミュージカル

岩手三陸キッズミュージカル開催 子どもたちが華やかに舞う

1月26日、町中央公民館において劇団ゆう主催の岩手三陸キッズミュージカル「美女と野獣」の公演が行われました。芸術文化活動の支援を目的に沿岸部の子どもたちが参加した同公演。本町と宮古市、大槌町の小・中学生49人が「魔法で物に変身させられたお城の人」役として、劇団ゆうのメンバーらとともに熱演しました。会場には子どもたちの活躍を一目見ようと大勢が詰めかけ、満員となるほどの大盛況。フィナーレでは、一生懸命歌い踊り、達成感にあふれた表情の子どもたちに、観客から鳴り止むことのない温かな拍手が送られていました。



東京海洋大学の学生サークル 町観光協会に温かな支援

東京海洋大学の学生サークル「キラー・ホエール・ラボ」から山田町観光協会に支援金が贈られました。これは、震災直後から山田町の鯨と海の科学館の復旧作業を支援してきた同サークルが、多くの人たちに山田町を知ってもらおうと、マッコウクジラをモチーフとしたチャリティーTシャツを製作。大学祭や学会などで販売し、その利益80,500円を寄付したものです。山田町担当の石井那奈さんは「海を愛する学生たちのささやかな活動ですが、山田町の新しい未来のために、これからも続けていきたい」と温かな思いを話してくれました。



文化祭での販売ブース



サークルの皆さん